

# 健康

県歯科医師会コラム

## 歯の健康

真喜屋 睦子



自閉症とは脳の機能に障害があるために起こる発達障害で、独特な行動特性のため歯科治療は困難とされています。近年、障害者歯科領域において、その行動特性や認知特性を理解し歯科治療に役立てていくという試みももたれています。

その一つの方法として、TEACCHプログラム<sup>1</sup>の歯科治療への応用があります。

TEACCHとは米ノースカロライナ州立大学で開発された自閉症児・者支援技法で、環境の側を自閉症児・者に合わせて変えていくことで、社会の中での適応能力を向上させることを目的としています。

自閉症児・者は他人とうま

### 自閉症児・者の治療

<38>

くコミュニケーションがとれない、言語理解が乏しい、こたわりのある行動をとるなどといった特性がある半面、視覚で理解する能力にたけている、興味を持ち一度理解し覚えたことはなかなか忘れないう、パターン化、習慣化したことは得意といった特性もあります。

そこで環境を整備し、絵カードなどの視覚支援ツールを使い、パターン化された手順に沿って診療を行っていくという方法によって歯科治療を円

滑に行う試みももたれてい

ます。自閉症児・者の患者さんは歯科治療時の音や光刺激に過剰に反応したり歯科治療に対して「何をするのか」「どれだけするのか」「終わるまでどのくらいかかるのか」「二つのことが終わったら、次は何をするのか?」といった不安(疑問)を持っています。しかしその障害の特性のために、言葉だけの説明では不安の解消には十分とはいえません。そこで以下のような

方法が有効となります。

〈環境の整備〉まぶしい光が苦手、大きい音が苦手な自閉症児・者のために、個室、ついたて、カーテン、ヘッドホンなどを使用することにより、苦手となる刺激を少なくして診療に集中できるように配慮する。

〈視覚支援〉治療に使う器具などの写真や絵カードを作成し、治療器具を視覚的に慣れってもらう。診療の手順に沿った治療内容を表す絵カードを事前に見せておいて、診

## 不安材料を減らして

療当日はその手順に沿って治療を行う。

このような配慮によって、いままで困難とされてきた自閉症児・者の歯科治療がより円滑に行うことが期待できます。感覚刺激への特異性に配慮し、話し言葉に依存せず視覚的に分かりやすい表現方法を用い、私たちの方から愛情を持って自閉症児・者に歩み寄った歯科治療を試みる事が重要となるのです。

(オアシス歯科医院)

